

「外国人留学生増加目標未達成 国立大学、外国人教員比率も」

2020年までに国立大学の大学院、学部を合わせた外国人留学生比率を10%、外国人教員比率を6.4%まで増やす。国立大学協会が11年前に定めた目標が昨年も達成できていない現状が、同協会の調査で明らかになった。「2020年までに5%」という海外への日本人留学生比率目標は、2017～2019年にいったん達成している。しかし、新型コロナウイルス感染が拡大した2020年、2021年に0%近くまで急落し、2022年5月時点でも目標値まで回復していない実態も明らかになった。

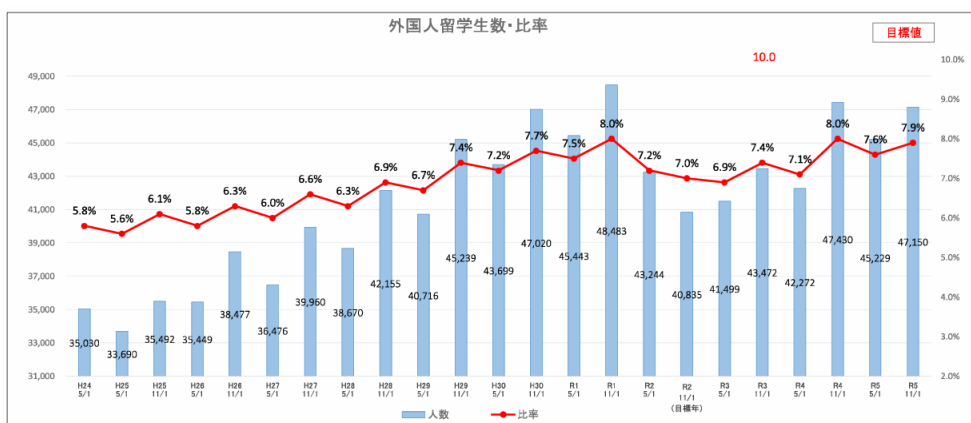
国立大学協会が3月8日に公表した『国立大学における教育の国際化の更なる推進について』第11回フォローアップ調査結果は、86の国立大学に対し、アンケートという調査法で昨年12月から今年1月にかけて実施された。同協会が2013年3月に公表した文書で目標を示した国際化に関する取り組み状況について毎年調べており、今回が11回目の報告書となる。

外国人留学生4年前と同水準

調査結果によると2023年11月1日時点の国立大学の大学院、学部の外国人留学生数は計47,150人で全大学院・学部生の7.9%に相当する。「2020年までに10%」という目標には目標年から3年過ぎても届いていない。2012年5月1日時点(3万5,030人、5.8%)以降の変化を見ると、毎年11月に増えて5月に減るという小変化を繰り返しながらも徐々に増え続ける傾向が2019年11月1日時点(4万8,482人、8.0%)まで7年余り続いていた。しかし、その後の3年間、新型コロナの影響とみられる低下傾向に変わる。結局、2023年11月1日時点の最新調査結果は、1年前に再び上昇に転じた2022年11月1日時点(4万7,430人、8.0%)とほぼ同じ数値を維持したものの、目標値には達していない。

1. 外国人留学生

目標 2020年(令和2年)までに受入れ留学生(外国人留学生)割合を学部・大学院合わせて10%にすることを目指す。



外国人留学生数

	H24.5.1 現在	H25.5.1 現在	H25.11.1 現在	H26.5.1 現在	H26.11.1 現在	H27.5.1 現在	H27.11.1 現在	H28.5.1 現在	H28.11.1 現在	H29.5.1 現在	H29.11.1 現在	H30.5.1 現在
学部	9,881人 2.2%	9,525人 2.1%	10,302人 2.4%	10,941人 2.4%	12,180人 2.7%	11,020人 2.4%	12,213人 2.7%	11,514人 2.5%	12,543人 2.8%	11,485人 2.6%	13,045人 2.9%	12,524人 2.8%
大学院	25,149人 16.1%	24,165人 16.0%	25,190人 17.4%	24,508人 15.8%	26,297人 17.0%	25,456人 16.4%	27,747人 17.9%	27,156人 17.2%	29,612人 18.7%	29,231人 18.4%	32,194人 20.2%	31,175人 19.6%
合計	35,030人 5.8%	35,449人 5.6%	35,492人 6.1%	35,449人 5.8%	38,477人 6.3%	36,476人 6.0%	39,960人 6.6%	38,670人 6.3%	42,155人 6.9%	40,716人 6.7%	45,239人 7.4%	43,699人 7.2%

	H30.11.1 現在	R1.5.1 現在	R1.11.1 現在	R2.5.1 現在	R2.11.1 現在	R3.5.1 現在	R3.11.1 現在	R4.5.1 現在	R4.11.1 現在	R5.5.1 現在	R5.11.1 現在	R4.11.1と比較
学部	13,766人 3.1%	12,756人 2.9%	13,814人 3.1%	10,430人 2.4%	8,958人 2.1%	8,793人 2.0%	9,533人 2.2%	9,124人 2.1%	11,507人 2.6%	10,859人 2.5%	11,307人 2.6%	648人増 0.1%増
大学院	33,254人 20.8%	32,687人 20.6%	34,669人 21.8%	32,814人 20.7%	31,877人 20.4%	32,706人 20.6%	33,939人 21.6%	33,148人 20.9%	35,923人 22.4%	34,370人 21.4%	35,843人 22.3%	1,553人増 0.0%増
合計	47,020人 7.7%	45,443人 7.5%	48,483人 8.0%	43,244人 7.2%	40,835人 7.0%	41,499人 6.9%	43,472人 7.4%	42,272人 7.1%	47,430人 8.0%	45,229人 7.6%	47,150人 7.9%	2,201人増 0.0%増

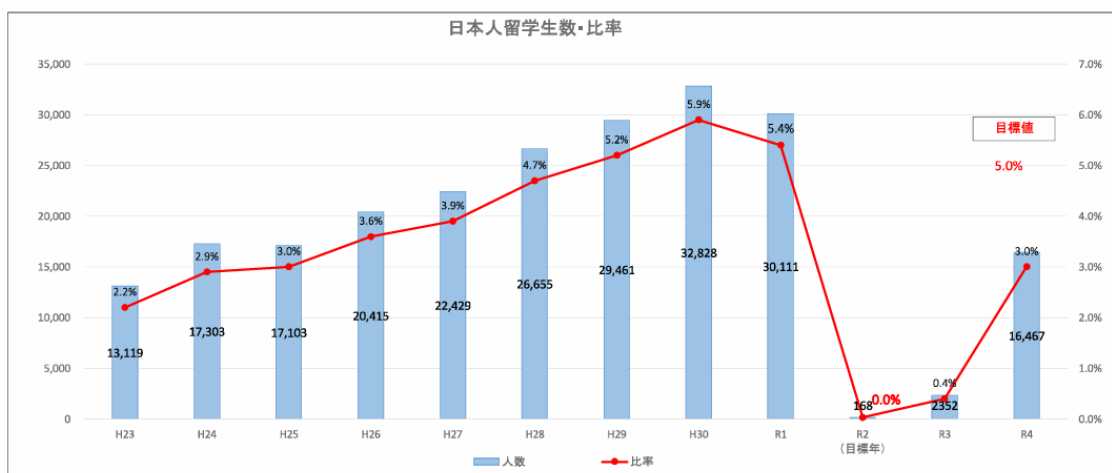
(国立大学協会「『国立大学における教育の国際化の更なる推進について』第11回フォローアップ調査結果」から)

海外留学も新型コロナ影響大

一方、新型コロナの影響をもろに受けたのが日本人学生の海外留学数。日本人に限った統計を取り始めた2013年5月1日時点(1万7,103人、3.0%)以後、大学院、学部いずれも数、比率ともに着実に増え続け、2017年5月1日時点で2万9,461人、5.2%と「2020年までに日本人海外留学生比率を5.0%」という目標を達成した。目標値を越す時期が2019年5月1日までの3年続いたが、翌2020年5月1日にはわずか168人、比率0.0%、続く2021年5月1日も2,352人、比率0.4%と深刻な状況に陥る。2022年5月1日時点でも1万6,467人、比率3.0%までしか回復せず、9年前とほぼ同じ数値に戻ってしまっている。

2. 日本人学生の海外留学

目標 2020年(令和2年)までに派遣留学生(日本人の海外留学生者)割合を学部・大学院合わせて5%にすることを旨とする。



日本人学生の海外留学者数

		H23年度実績	H24年度実績	H25年度実績	H26年度実績	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績
長期 (1年以上)	学部	506人	457人	302人	506人	816人	624人	348人	229人	146人	10人	80人	106人
	大学院	568人	479人	215人	206人	210人	213人	205人	197人	205人	44人	90人	142人
	小計	1,074人	936人	517人	712人	1,026人	837人	553人	426人	351人	54人	170人	248人
短期 (1年未満)	学部	7,844人	9,935人	11,223人	13,626人	14,651人	18,229人	19,594人	22,087人	19,714人	63人	1,479人	10,458人
	大学院	4,201人	6,432人	5,363人	6,077人	6,752人	7,589人	9,314人	10,315人	10,046人	51人	693人	5,761人
	小計	12,045人	16,367人	16,586人	19,703人	21,403人	25,818人	28,908人	32,402人	29,760人	114人	2,172人	16,219人
合計	学部	8,350人 1.9%	10,392人 2.3%	11,525人 2.6%	14,132人 3.2%	15,467人 3.5%	18,853人 4.3%	19,942人 4.6%	22,316人 5.2%	19,860人 4.6%	73人 0.0%	1,567人 0.4%	10,564人 2.5%
	大学院	4,769人 3.0%	6,911人 4.4%	5,578人 4.4%	6,283人 4.8%	6,962人 5.3%	7,802人 6.0%	9,519人 7.4%	10,512人 8.3%	10,251人 8.1%	95人 0.1%	785人 0.6%	5,903人 4.7%
	合計	13,119人 2.2%	17,303人 2.9%	17,103人 3.0%	20,415人 3.6%	22,429人 3.9%	26,655人 4.7%	29,461人 5.2%	32,828人 5.9%	30,111人 5.4%	168人 0.0%	2,352人 0.4%	16,467人 3.0%
	学部	8,350人	10,392人	11,525人	14,132人	15,467人	18,853人	19,942人	22,316人	19,860人	73人	1,567人	10,564人
	大学院	4,769人	6,911人	5,578人	6,283人	6,962人	7,802人	9,519人	10,512人	10,251人	95人	785人	5,903人

※合計は期間不明者(学部:8,大学院:10)を含む。:1:10を含む。

※[合計]下段について

平成23～24年度 海外留学者[日本人に限らない]／同年5月1日時点の総学生数×100(%)

平成25年度以降 海外留学者[日本人に限る]／(同年5月1日時点の総学生数－外国人留学生数)×100(%)

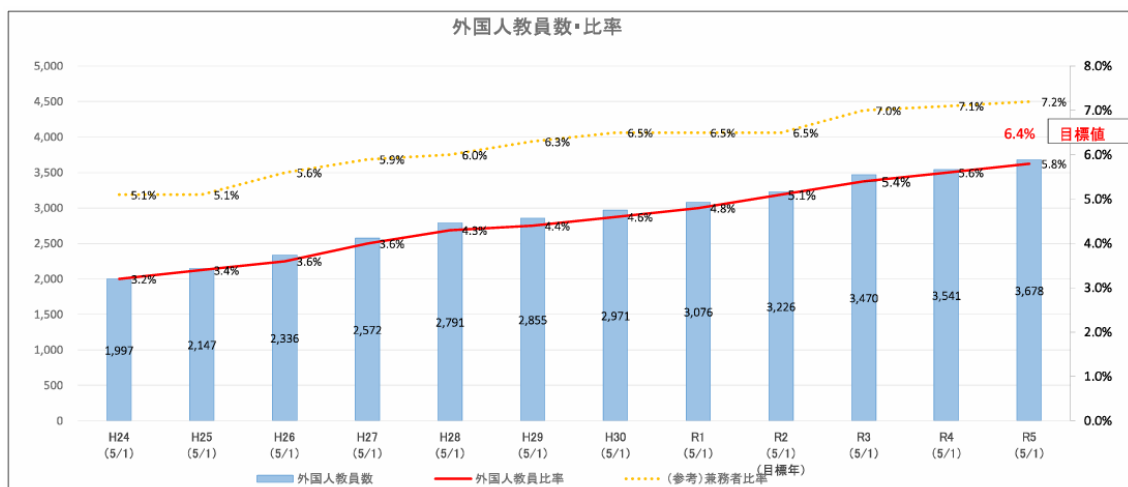
(国立大学協会『国立大学における教育の国際化の更なる推進について』第11回フォーラム調査結果)から)

外国人教員比率も未達成

海外の教育誌や高等教育機関が毎年公表している世界大学ランキングでは、外国人留学生比率とともに外国人教員比率が、大学の国際性を評価する重要な指標とされている。外国人教員数・比率は新型コロナの影響をほとんど受けなかったとみられ、調査開始以来、年々、着実に増え続けてきた。兼任を除く外国人教員数・比率は2012年5月1日の1,997人、3.2%から2023年5月1日に3,678人、5.8%まで増えた。目標は「2020年までに比率を倍増」だから目標値は2012年の3.2%の倍の6.4%。これまでの増加傾向が続くとしても目標値に届くのはあと2～3年かかりそうだ。

3. 外国人教員

目標 **2020年までに外国人教員比率を倍増**させることを目指す。



外国人教員数

	本務者											
	H24.5.1 現在	H25.5.1 現在	H26.5.1 現在	H27.5.1 現在	H28.5.1 現在	H29.5.1 現在	H30.5.1 現在	R1.5.1 現在	R2.5.1 現在	R3.5.1 現在	R4.5.1 現在	R5.5.1 現在
外国人教員数	1,997	2,147	2,336	2,572	2,791	2,855	2,971	3,076	3,226	3,470	3,541	3,678
教員数	62,825	63,218	64,114	64,515	64,318	64,280	64,433	63,935	63,870	63,705	63,292	63,474
外国人教員比率	3.2%	3.4%	3.6%	4.0%	4.3%	4.4%	4.6%	4.8%	5.1%	5.4%	5.6%	5.8%

	(参考)兼務者											
	H24.5.1 現在	H25.5.1 現在	H26.5.1 現在	H27.5.1 現在	H28.5.1 現在	H29.5.1 現在	H30.5.1 現在	R1.5.1 現在	R2.5.1 現在	R3.5.1 現在	R4.5.1 現在	R5.5.1 現在
外国人教員数	1,981	2,023	2,079	2,313	2,300	2,333	2,476	2,431	2,389	2,602	2,619	2,670
教員数	38,697	39,310	37,024	39,467	38,632	37,188	37,828	37,473	36,482	37,431	36,838	37,271
外国人教員比率	5.1%	5.1%	5.6%	5.9%	6.0%	6.3%	6.5%	6.5%	6.5%	7.0%	7.1%	7.2%

(国立大学協会『国立大学における教育の国際化の更なる推進について』第11回フォローアップ調査結果)から)

国際的にも見劣る取り組み

国際化は日本政府の重要課題となっている。海外からの留学生受け入れについては大学より政府の取り組みの方が早い。大学・短期大学・高等専門学校・専修学校(専門課程)・日本語教育機関に在籍する外国人留学生数を2020年までに30万人にするという「留学生30万人計画」を文部科学、外務、法務、厚生労働、経済産業、国土交通の6省が策定したのが2008年。これら関係省庁会議が2021年3年に公表した『留学生30万人計画』骨子検証結果報告は、目標年より1年早い2019年5月時点で31万人に達したことを明らかにし、「高等教育機関で外国人留学生と日本人学生が共に学ぶ環境の充実が図られ、高等教育の国際化も進展している」と評価している。

この報告書には、学部、大学院を合わせた外国人留学生数が2008年の9万3,186人から2019年に14万2,691人に増えたという数字が示されている。一方、日本学生支援機構が昨年3月に公表した「2022年度外国人留学生在籍状況調査結果」によると2022年5月1日時点で学部・大学院の外国人留学生数は12万5,169人。昨年12月に文部科学省が公表した学校基本統計によると、2023年5月1日時点の国立大学学部・大学院生の総数は約60万人で、公立、私立を加えた日本全体の大学学部・大学院生数は約295万人。日本全体の大学学部・大学院外国人留学生比率は4%強ということになるので、国立大学がより多くの外国人留学生を受け入れる役割を果たしているのは間違いない。

しかし、国際的にみると主要国立大学の外国人留学生比率は、海外主要大学に比べるとまだまだ見劣りするというのが現実。大学の国際性は、英国の教育誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」、同じ英国の高等教育評価機関「クアクアレリ・シモンズ(QS: Quacquarelli Symonds)」が毎年公表している世界大学ランキングでも主要な評価対象となっている。いずれも外国人留学生比率が国際性を評価する指標の一つとされている。

昨年9月に公表された「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」の「世界大学ランキング2024」では、外国人留学生比率は1位の英オックスフォード大学の42%をはじめ上位10位内に並ぶ英国と米国の大学すべてで20%以上となっている。一方、上位200位内に日本の5大学（いずれも国立大学）が入っているものの、外国人留学生比率は上位10位の英米大学に比べると見劣りは明らか。29位の東京大学15%、55位の京都大学11%、130位の東北大学12%、175位の大阪大学10%、191位の東京工業大学が17%と、すべて20%を下回っている。

日文 小岩井忠道（科学記者）

関連サイト

国立大学協会 [「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」第11回フォローアップ調査結果](#)

国立大学協会 [「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」](#)

日本学生支援機構 [2022（令和4）年度外国人留学生在籍状況調査結果](#)

日本学生支援機構 [2021（令和3）年度日本人学生留学状況調査結果](#)

グローバル人材育成推進会議 [「グローバル人材育成戦略」](#)

文部科学省 外務省 法務省 厚生労働省 経済産業省 国土交通省 [「留学生30万人計画」
骨子](#)

文部科学省 外務省 法務省 厚生労働省 経済産業省 国土交通省 [「留学生30万人計画」
骨子 検証結果報告」](#)

関連記事

2024年02月01日 客観日本 [THE 公布全球国际化大学排名，日本高校排名全面下滑](#)

2023年10月10日 客観日本 [THE 发布世界大学排名，前200名中有5所来自日本](#)

2023年07月07日 客観日本 [QS 世界大学排名2024：亚洲大学的跃进势头告一段落？](#)

2023年01月27日 客観日本 [面对自身竞争力的下降，日本期待加强科技人才的国际交流](#)

2020年01月21日 客観日本 [日本科学技术与学术政策研究所调查：针对外国博士留学生的
工作招聘信息较少](#)